



君津商工会議所 FAX通信

会員の皆様へ…会頭からのメッセージ
平成28年2月10日(水)

Vol. 321

文殊の知恵となれば

～2月上旬会った人達の話から～

秋元 秀夫

昨年末の御挨拶に、年末年始を明るく過ごすために会う機会を多くして下さいとお願い致しましたが、やはりいつもの年より忘年会、新年会は少なくなったようであります。昨年末の多くのエコノミストは16年末には株価は22,000円と予測された方が多く、年初から順調に滑り出すかと思われ、株価は16,000円台で乱高下を繰り返しております。著名なエコノミストは3カ月くらいで落ち着くでしょうと言われておりますが、インターネットでも景気は中々予見できません。景気や株は「温故知新」古きを訪ねて新しきを知ると古くからの教えがある様に、歴史に教わる事が良いと言われております。

2月へ入ってから急に各界の要人と会う機会に恵まれ、4日には海洋研究開発機構センター長木川栄一氏とお会いして「日本の領海は今や世界で4番目の広さとなり「海底資源研究開発センター」の無人探査機は水深10000メートルの能力を持ち、3000メートルから5000メートルの間に、マンガン、レアメタル、メタンハイドレード等の資源を大量に発見しており、将来日本は資源国も夢ではないと、日本にとって明るい話でした。(今夜テレビで放送されておりますので略しますが)…」7日には日本バスケット界の救世主となった元サッカーJリーグ初代チェアマン川淵三郎氏の話聞く機会を得ました。Jリーグは1993年10クラブに絞ってスタートしようとした時、最後2チームのうち、鹿島ア

ントラーズを外すこととなり、代表ら呼んで貴チームは選考過程99.9%選ばれる可能性がなくなったので、了承して欲しいと言ったら、代表者に「0.1%の可能性は何ですか」と聞かれ、当時のサッカー界では絶対できないと思われた「15000人収容できる屋根付きサッカー場」と申し渡して、断念されたと思ったら7日後「承知しました。条件を全部のみます」と返事が来て私は責任を取って鹿島アントラーズを選びました。0.1%の可能性に希望を失わず、市民、企業が力を合わせて若者たちの夢を叶えた鹿島市は若者減少の町から、若者の増加する素晴らしい街へと変わりました。あの時代私が出した条件は、前例から考えても全くあり得ないと思っていました。すべてプロはアマチュア的な組織ではダメで、法人組織としてそれを見事成し遂げた人達がいたのです…と。

その翌日、元航空自衛隊幕僚で実際に長年飛行機に乗っておられた方と食事をしながら、「飛行機は自動車よりは安全性が高いですよ」と聞きました所、民間航空機は安全性が高いが、自衛隊は戦闘機ですから訓練は常に人体、機体の限界へ挑戦しますから危険性は高いです。安全な訓練をしていたらいざという時に自滅してしまいます。昔から日本の軍隊が世界最強だったのは厳しい訓練に耐えて頑張っていたからであります。戦記に残されております様に、厳しい訓練で鬼隊長と言われた部隊は生き残っております。死にたくなかったら厳しい訓練を耐えることです…と。

今日は9日、NHKアナウンサーから神官になった宮田修さん、心楽しい生き方をしたかったら「和を以て貴しとされ、けんか両成敗、夫は夫らしく、妻は妻らしく生きること、命は遠い先祖からの大切な贈り物、孫子、曾孫へと継承する大切な役目を果たすこと、日本民族は分かち合い、助け合って生きることを大切にす素晴らしい民族であります…」御商売に行かせて頂ければと書かせて頂きました。